

■ 島根県公立大学法人評価委員会からの平成30年度業務実績に関する評価を受けての改善策

評価委員会からの「大学の教育研究等の質の向上」項目に対する評価の遅れている点(課題がある点)	島根県立大学の改善策
<p>○ (浜田キャンパス) 昨年度に引き続き、学生アンケート回答率と教員フィードバック提出率が、出雲キャンパスや松江キャンパスと比較して低くなっている。スマートフォンで容易にアンケート回答できるようシステム改修する、QRコードを学内に掲示するなどの取り組みの中で、今後、新システムの操作方法などの利便性が高いことをいっそう学内に浸透させ、回答率や提出率を高められたい。</p>	<p>□ 浜田キャンパスにおいては、以下の対策を実施する。 ① アンケートのスマートフォン対応化を積極的に周知する。 ② アンケートページへのアクセス用QRコードを作成し、各講義室の出入口をはじめ学内各所に掲示する。 ③ アンケート回答期間開始時に各教室でのPR キャンペーンを展開する。 ④ 教授会で目標達成への協力依頼を行う。</p>
<p>○ (浜田キャンパス) 依然として県内入学率が他キャンパスと比較して低いこと、また、県内就職率が法人化後初めて2割を切った。当該卒業生の入学年次における県内入学生数が前年に比べ大幅に減少したことが要因と考えられ、県内入学率と県内就職率は相互に関連していることから、県内入学者数の確保等のさらなる取組が必要である。</p>	<p>□ 県内高校生の本学進学者を増やすこと等を目標とした入試改革全学方針を策定する。 □ 高校生と進路指導担当教員に対して本学の魅力を直接PRするため、学長をはじめ本学教職員による高校訪問を積極的に行う。 □ 大学案内・公式ホームページ・動画・テレビCM・新聞等を活用して、大学の魅力の「見える化」を進める。</p>